

第26回「郷土の祭り写真コンテスト」審査会開催

今回で第26回を迎える愛知県神社庁主催「郷土のまつり写真コンテスト」は、愛知県内で行われる祭りを撮影した写真を募集するもので、県内外各地在住のカメラマンにより173点の応募を数えました。

本年は新型コロナウイルスによる感染症の影響を考慮し、表彰式は中止となったものの、令和2年3月24日に審査会が開催され、フォトアドバイザーの矢野謙治氏による厳正な審査のもと、神社本庁統理賞（推薦授与）に山田徹氏の「紙吹雪舞う」、神社庁長賞（特選）に丹羽利幸氏の「ね～おきて」、総代会長賞（特選）に山室正輝氏の「真剣二刀流」がそれぞれ選ばれ、このほか準特選7点、入選9点、佳作15点の計34名の作品が選考されました。今回の選考に関しての矢野氏の講評は以下の通りです。

推薦 神社本庁統理賞 「紙吹雪舞う」 山田 徹 様

豊田市・挙母神社挙母祭りでのワンシーン。紙吹雪舞う山車が曳きまわる光景は、とてもフォトジェニックで、毎回多数の応募作品が寄せられて来ます。ラグビー日本代表の山車を狙ったところに、「今」を感じさせます。無駄のない画面構成、シャッターチャンスの的確さ、紅白の紙吹雪、臨場感溢れる祭りの光景が見事に捉えられております。

特選 愛知県神社庁長賞 「ね～おきて」 丹羽 利幸 様

成岩神社成岩祭りでの一コマ。可愛い巫女さんたちを狙っての作品です。疲れ果てた一人の巫女さん、居眠りを始めてしまいました。彼女を取り巻く他の巫女さんの様子が、生き生きと描かれております。起こそうとする子、面白がっている子、批難しているような子、とても微笑ましい光景でもあります。

特選 愛知県神社総代会長賞 「真剣二刀流」 山室 正輝 様

熱田神宮祭事での棒の手奉納。カメラポジション・アングルの良さが光ります。熱田神宮らしい情景が良く分かります。次いでシャッターチャンス、シャッタースピードの選択、フレーミングの的確さ。全体の写真的技量の高さで、力強い迫力あるシーンが表現されております。